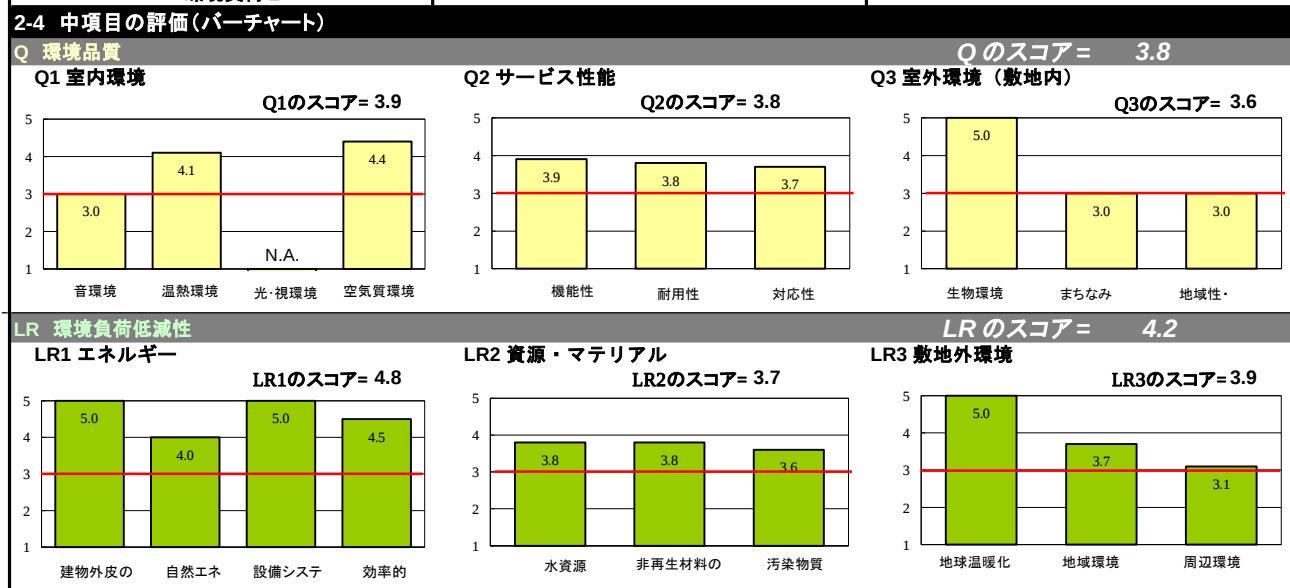
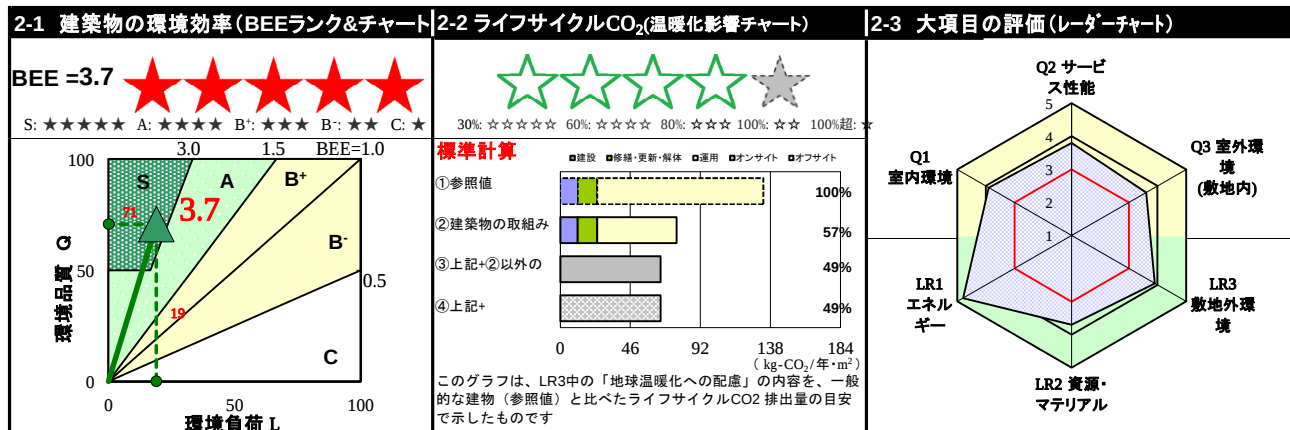


1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	(仮称)教育研修施設新築計画(体育館)	階数	地上1F、地下1F
建設地	箕面市栗生新家及び栗生間谷西	構造	S造
用途地域	第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	480 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,820 時間/年(想定値)
建物用途	集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年7月 予定	評価の実施日	2025年7月23日
敷地面積	64,359 m ²	作成者	株式会社 日建設
建築面積	2,928 m ²	確認日	2025年7月23日
延床面積	4,539 m ²	確認者	株式会社 日建設



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・ 四周の建具から視覚的に自然の光や緑を取り込む開放的な体育館		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
居室は4管式FCUを採用し、居室毎で冷暖の選択が可能である。アリーナ部分においては方位ごとで冷暖の選択が可能な配管システムとしている	メンテナンス性が高く更新必要間隔が長い内装材を用いる。 1階コアを片側に寄せることで自由な形状・空間としている。	外部テラス・植栽・トップライト等、豊かな中間領域を形成する。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・ BEI=0.49、・ BPI=0.72であり、省エネに配慮した設計となっている。	雨水の再利用、躯体および躯体以外の材料にもリサイクル材を用いる。	雨水流出抑制対策を実施。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)教育研修施設新築計画(体育館)							
建設地		大阪府箕面市栗生新家及び栗生間谷西							
用途／区分		集会所							
【評価結果】	CASBEE 総合評価						S		
①	CO2削減						5		
②	みどり・ヒート アイランド対策						4		
③	断熱性能							5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外					評価対象外	
④	エネルギー消費性能							5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分 非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外 					評価対象外 6	
⑤	自然エネルギー直接利用							○	
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	5.0	5
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	5.0	4
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2. 2 温熱環境悪化の改善	4.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		